つい先日新年の挨拶を交わしていたかと思ったら、早いもので１月も半ばを迎え、月日の経つ速さを痛感しております。新しい年を迎え、子どもたちの園生活も残り３か月足らずとなりました。子どもたちにとっては進級・進学に向けてより一層成長が見られる大切な時期です。年末年始を家族と過ごし、元気に園生活をスタートしたのも束の間、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、緊急事態宣言が発出されました。前回のように休園措置にはなりませんでしたが、「三密を避ける」ためにお子様の登園について、ご協力を頂きたく先日おたよりを配付させて頂きました。主旨をご理解頂き、ご協力をお願いいたします。

引き続きのコロナ禍ではありますが、子どもたちが安心して安全に園生活を送れるように園内の感染防止対策を万全にし、楽しく充実した毎日になりますよう今年も職員一同、気持ちを引き締めて教育・保育にあたって参ります。保護者の皆様も引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染防止対策について（お願い）

・園内の感染防止対策強化のために、次のことについてご理解とご協力をお願いします。

◎給食後の歯磨きを当面の間中止します

飛沫を防ぐために、給食後の歯磨きは行いません。２～５歳児クラスのお子様は歯ブラシを持ってこないでください。日中は唾液の分泌があるため、虫歯になりにくいと言われています。虫歯予防には、夕食後や寝る前の歯磨きが重要と言われていますので、ご家庭でしっかり歯磨きをお願いします。３～５歳児の２号認定のお子様は、おやつの時間にコップを使用するので、コップは持ってきてください。

◎３～５歳児は、毎日水筒をもってきてください

感染防止対策として、保育室の水栓が自動水栓になったことにより、水を飲むときに手のひらですくって飲むようになりました。そこで飛沫感染防止や衛生面を考え、お手数ですが水筒をもってきてください。（中身は水またはお茶でお願いします）水筒については、衛生面を考えて内側がステンレス等、保温効果のあるものでお願いします。

◎３～５歳児は、マスクの予備を１枚持ってきてください

吐息や鼻水などでマスクが濡れてしまうことがあり、保護者の方から衛生面が心配というご意見もありましたので、取り換え用のマスクを１枚ビニール袋に入れて持たせて下さい。

【１号認定の保育時間短縮のお願い】

１月中に予定していた園内研修会が新型コロナウイルス感染拡大により２月１７日（水）に延期になりました。その関係で、２月１７日（水）は給食後１２：３０降園でお願いします。

中井中学校　ウインターコンサート

毎年１２月に開催している中井中学校の吹奏楽部の皆さんによる「ウインターコンサート」が、今年は新型コロナウイルスの感染拡大によって開催は難しいかと思っていましたが、中学校のご理解とご厚意で、無事に開催することができました。いつもは遊戯室で行っているのですが今年は感染防止対策として園庭で「青空コンサート」になり、近隣にお住いの皆さんにも楽しんでいただくことができました。園児との距離を十分にとったことから、最初は遠慮がちだった子ども達も、大好きな NiziU の「Make you happy」や鬼滅の刃の主題歌「紅蓮華」の演奏が始まると席を立ち、踊ったり歌ったり、ノリノリでした。コロナ禍にあって、部活動もままならなかった吹奏楽部の皆さんですが、子どもたちのためにと駆けつけてくださり、本当にありがとうございました。来年は、従来通り楽器の触れ合いもできるといいな～と願っています。子どもたちにとってなかなか聞く機会のない生演奏を身近で聞くことができ、貴重な体験になりました。

「乳幼児期にふさわしい教育・保育」とは・・・？

保護者の皆様から園で、「文字を教えてほしい」「お勉強をしてほしい」というご意見を頂くことがあります。子どもたちにとって毎日の「遊び」こそ「学びの場」であることは、以前から何度もお伝えしているので、「遊び＝学び」という考え方に理解を示してくださる方が増え、とても嬉しく思っています。

こども園では、園生活で培った力が「小学校への学び」に連続していくと考えています。そのために重要なことは**学校で学ぶ文字や勉強を先取りすることではなく**、子ども達**一人一人の興味や関心**に応じた活動を**それぞれのやり方やペースでくり返し**、色々なことを体験することが大切です。

それは、乳児期から既に始まっており、本園の乳児クラスの子ども達も毎日色々なこと、もの、人との出会いの中で触れたり、感じたり、やってみたりを繰り返し、興味や関心を高めていきます。園では、新しいこと、ものとの出会いや、人とのかかわりが多くある環境を用意し、子どもたちの「学びの場」を提供しています。

幼児期になると成長と共に今まで経験してきたことの積み重ねから、**自ら興味を持ったことに対してじっくり取り組んだり、もっとこうしたいと思ったり、さらに考えたり工夫したりしながら自分の発想を実現させていこうとする力**がついてきます。「遊んでばかりいて、小学校でちゃんと授業を受けられるのかしら？」「ちゃんと、先生の話が聴けるのかしら？」と、心配な保護者の方も多いと思いますが、子どもたちが自らしたい遊びに取り組んでいる時をゆっくり観察してみてください。子どもたちなりに、考えたり工夫したり、失敗しても諦めずに粘り強く取り組んだりする姿が見られると思います。

「学力」は、「文字が書ける」「計算ができる」など、目で見てすぐに結果がわかる事が多いです。しかし、そのほとんどが幼児期に身に着くと言われている「非認知能力」と呼ばれる力は、直ぐに結果がでるものでも、目で見て分かりやすいものでもないので、その評価はなかなか難しいですが、「非認知能力」を身に着けられる生活や活動こそが乳幼児期にふさわしい教育・保育なのです。

なかいこども園では、これからも子ども達が自ら取り組んでみたくなるような環境や、主体的に活動ができる時間や場の確保をし、コロナ禍にあっても子どもたちが毎日、キラキラと瞳を輝かせ、自ら「やってみたい！」「もっとこうしたい！」と思いながら楽しく通える園づくりを目指していきます。